



上越市社協

ふれあいネットワーク

板倉支所だより

発行/上越市社会福祉協議会板倉支所 住所/板倉区宮島135-1 平成28年6月発行
TEL 0255-78-2220 FAX 0255-78-4820

社協会費のお願い

上越市社会福祉協議会では、「共に生き、共につくる福祉社会」を目指して、地域福祉を推進していくための様々な事業活動に取り組んでいます。これらの事業活動を行い、地域福祉を推進していくために、会費は極めて重要な役割を担っています。

6月に町内会長様のご協力をいただき、住民の皆様から会費の納入をお願いいたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。 1世帯：600円

☆27年度 1,222,800円(2,038世帯) 賛助会費30,000円(30人)

板倉支所の地域福祉事業（主な事業）

①ふれあい・いきいきサロン事業

・身近な地域において高齢者や障がいのある方、子育て世帯などが住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、気軽に集えるサロンを自主的に開設して、ふれあいを通して仲間づくりの輪を広げ、孤独感の解消や生きがいつくりと地域福祉活動の推進を図ることを目的とします。

☆28年度、板倉区では、12町内で活動がはじまっています。開設した年度から予算の範囲内で、7年間は活動助成金がありますので、まだ実施されていない町内会の皆様是非、ご検討ください。

②ふれあい支え合いマップづくり

・上越市社会福祉協議会では、「地域支え合いマップづくり」を推進しています。地域の支え合いマップづくりは、ご近所同士のつながりや地域における助け合いの現状及び問題点などを地図上に記載することにより、町内の福祉ニーズや福祉資源、生活実態を把握し、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざすものです。

☆板倉区では、21年度～10町内会でマップを作成しました。「実際どんなことをするのか？難しいかな？」等、お気軽にご相談ください。まだ実施されていない町内会の皆様是非、ご検討ください。



今年度から、板倉支所だよりをかわら版方式でお届けします。

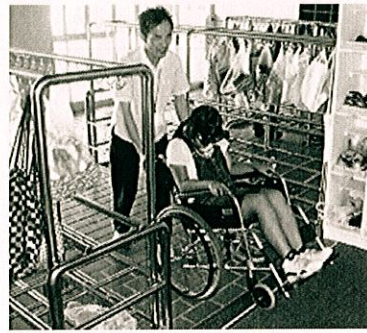
③福祉教育事業

・地域住民にむけた福祉学習や小中学生向けの福祉教育活動を実施し、ともに学び、ともに生きる力を育みます。

今年度も針小学校6年生の皆さんが福祉教育の学習を行いました。高齢者の疑似体験のグループと車椅子の2チームに分かれて体験を行いました。

・疑似体験では、白内障を体験できるゴーグル（見えづらい）とヘッドフォン（聞こえにくい）おもりをつけての歩行体験や封筒の中のお金を数える体験をしました。

・車椅子体験では、ゴーグルとヘッドホンをつけて車椅子に乗りました。押す時の声が聞きとりにくかったり、視野が狭くなっていたりで、ちょっと怖い思いをしますが、「友達を信頼しているから怖くなかったよ。」とやさしい声が聞こえてきました。



玄関での車椅子の降り方、あがり方を清心荘の職員から教えてもらいながら実践しました。
「タイヤをつけてから、前に押すようにしてごらん。」「楽にできたよ。」

④地域支え合い事業（まちづくり振興会からの再委託）

○すこやかサロン（校区別に3グループ）は水曜・金曜に実施しています。健康チェック、お茶のみ、支援員さんによる体操やゲーム等、皆さんとても楽しみにしておられます。

○介護予防教室：2班に分かれて、介護予防及び重症化予防の為、体操等を行います。

○お出かけサロン：温泉施設等にでかけて日頃の疲れや、仲間との交流を計ります。



☆お気軽にお問合せください☆